

意見書案第9号

生活保護の夏季加算の制度化を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を求める。

令和6年9月26日提出

提出者 中間市議会議員 柴田芳信

賛成者 中間市議会議員 田口澄雄

生活保護の夏季加算の制度化を求める意見書

年々夏の暑さが厳しさを増し、今年の熱中症による救急搬送人員数は、8月12日から8月18日までの前年同時期と比較すると、令和6年が7,104人、令和5年が6,523人で581人の増加となっています。また、発症した場所で最も多いのが住居での発症であり、予防にはエアコンの利用が有効であると言われています。

生活保護世帯でも、エアコンの保有が認められ、一定の条件を満たす世帯にはエアコン購入費用の支給も行われています。

しかし、電気料金がいくらになるか心配で利用できないという声が上がっています。

生活保護は、健康で文化的な最低限度の生活を営むために、厚労省が定めた最低生活費が毎月支給されていますが、昨今、電気料金も高騰しており、これまで以上に負担が増えているのが現状です。

冬期には寒さをしのぐために必要な暖房費が冬季加算として、地域によって金額は異なりますが、最低生活費に上乗せして支給されています。

命さえ脅かす猛暑の夏、命を守るためにエアコンが安心して使えるよう冷房の電気料金として、夏季加算を支給することが切に求められています。

よって、中間市議会は国に対して下記の項目を要望するものです。

記

1. 生活保護の夏季加算の制度化を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年9月26日

中 間 市 議 会

内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
総 務 大 臣	松 本 剛 明 様
厚生労働大臣	武 見 敬 三 様
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一 様
衆議院議長	額 賀 福 志 郎 様
参議院議長	尾 辻 秀 久 様